

# I はじめに

## （設立）

一般財団法人友愛は、昭和28年（1953年）に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和34年（1959年）に財団法人日本友愛青年協会（所管文部省）として設立された。平成23年（2011年）4月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して公益事業を継続。平成29年（2017年）12月22日付で、名称を一般財団法人友愛に変更した。そして、平成31年（2019年）3月28日公益財団法人として認定される。

## （目的）

この法人は、自立と共生の友愛の理念の下に、国内外の青年や社会人の交流を深め、友愛の理念を次世代に継承、発展させる人材を育成し、もって世界平和に資することを目的とする。（定款より）

## Ⅱ 概 況

### 総 括

公益財団法人友愛としての初年度は、平成から令和への移行という日本にとって大きな節目の年となったが、事業計画に則りそれぞれの事業がつつがなく実施されたことを第一として記したい。しかし、年度末に起きた新型コロナウイルスによる WHO のパンデミック宣言を受け、事実上の往来が不可能となり、エヤップからの研修生受け入れ事業は断念せざるを得なかった。

事業の順調な推進はもとより、評議員会、理事会、運営委員会、事業担当理事などの組織の形態も構築され、それぞれが十分に機能的役割を果たしてきたことは、今後の法人継続に向けて、大いに期待できる要素であると言える。

併せて単に事業が滞りなく推進されただけでなく、それぞれの事業に於いて、「友愛理念の普及」という大命題が具現化されている様を確認できていることも、初年度の総括として報告したい。

友愛国際写真コンクールでは、第6回を実施し、主題である「友愛・平和・自然」などが顕著に表れた多くの作品を見るにつけ、友愛理念の普及に資していると実感できる。

「小論文コンテスト」では、初めて男子学生（三年生）が一位を受賞し、学生たちの真摯な取り組み方も感じ取ることができ、「友愛」を伝えることができているのではないだろうか。

ミャンマーからの農業研修生も、すべての研修に熱心に取り組み、三年前からは帰国した研修生による友愛ファームも活動を始めている。今年度の研修生も、地元で新たな友愛ファームを始動させるべく、帰国後も熱心に活動している。

エヤップにそして中国に派遣された学生は、多くの貴重な経験をする事ができた。その経験をもとに次なる活動を目指して、友愛ユニオンとしてチームを築くことを計画するなど、種まきは確実に行われたと思える。

初年度の実績を次年度に向けての道標とするとともに、更なる充実発展を目指して、今年度の事業報告の総括とする。

### Ⅲ 公益事業実施報告

#### 1、国際交流事業

（定款 第4条 第1項 第(1)号に基づく事業）

##### (1)OEJAB 派遣

###### ①広告及び募集

ポスター郵送 2019年5月8日（水）

全国国立大学及び都内近郊私立大学40校へ掲示依頼

応募締め切り2019年6月10日（月）

###### ②選考

応募者人数 24名

選考委員により選考→理事会へ報告

提出書類【申込書（写真貼付）、教授の推薦状（書式自由）、400字程度で参加希望動機・自己紹介文（書式自由）】

推薦派遣人数 男性4名（内1名補欠）女性4名（内1名補欠）

###### ③決定

第3回 理事会において、選考委員会から報告された者を今年度の派遣員として決定

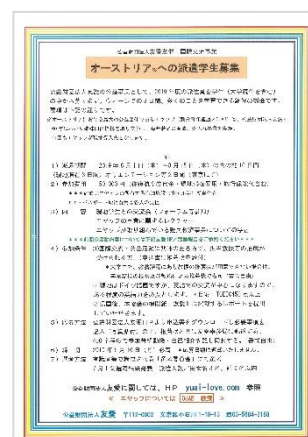
派遣人数 男性3名，女性3名 決定

###### ④滞在期間

2019年8月5日(月)～8月15日(木)

###### ⑤参加者

木本康瑛	21歳	名古屋大学	4年	男性
吉田大志	22歳	一橋大学	4年	男性
後藤大智	21歳	名古屋大学	3年	男性
成田 葵	22歳	慶應義塾大学大学院	1年	女性
阿部真悠子	21歳	東北大学	3年	女性
森崎桃子	19歳	早稲田大学	2年	女性



ポスター



⑥日程

日時		行事
8月3日(土)	14:00	「友愛とは」レクチャー 懇親食事会・団結式
8月4日(日)	11:00	鳩山会館 見学
8月5日(月)	日本 9:30	成田空港オーストリア航空 OSO 52 便出発
	ウィーン18:35	オーストリア ウィーン空港到着

Tuesday, 6<sup>th</sup> August 2019

Vienna

Time	Event
09:30	Gathering and leaving the accommodation
10:00-13:00	Visiting "ÖJAB-Haus Neumargareten", senior citizens' residences and nursing home with a generation-connecting Kindergarten. Lunch included.
15:00	Meeting at Japanese embassy
Evening	Dinner at "Centimeter I"

Thursday, 8<sup>th</sup> August 2019

Vienna

Time	Event
Morning	Leaving the intercultural home
11:00-14:30	Visit JTI office and have lunch
Afternoon	Visit Schönbrunn Castle, its gardens and Hietzing cemetery (Grave of Coudenhove-Kalergi family)
Evening	Dinner at "Maxingstüberl" (traditional Austrian restaurant)

Friday, 9<sup>th</sup> August 2019

Vienna

Time	Event
08:00	Gathering and leaving the accommodation
08:30-12:00	BPI der ÖJAB (vocational school with German language classes)
	Lunch
15:00	Guided tour through the United Nations Vienna (Vienna International Centre)
Evening	Dinner at a "Heuriger" (traditional Austrian wine restaurant)

Saturday, 10<sup>th</sup> August 2019

Vienna

Time	Event
	Gather and leave the accommodation
Morning	Tour along "Ringstraße" (Vienna's boulevard) and the city center
12:00	Lunch at Würstelstand (traditional snack) near "Ankeruhr" (a musical clock)
Afternoon	Free time to buy souvenirs, explore city
Evening	Dinner

**Sunday, 11<sup>th</sup> August 2019**

**Salzburg**

Time	Event
07:15	Gathering and leaving accommodation
07:43	Departure of the train to Salzburg (breakfast in the train)
10:08	Arrival at Salzburg Hauptbahnhof
Afterwards	Check-In at the accommodation
Morning	Walk through Salzburg to „Festung Hohensalzburg“ (Hohensalzburg Castle)
	Tour through “Festung Hohensalzburg” with audio guides
	Lunch
	Going by bus to Hellbrunn Castle
Afternoon	Tour through Hellbrunn Castle and back to the city centre by bus
	Tour through Salzburg
Evening	Dinner

**Monday, 12<sup>th</sup> August 2019**

**Salzburg**

Time	Event
	Check out from the accommodation
	Leaving the hotel
	Hallein
	Take public bus to Dürrenberg
Morning	Visiting the salt mine Hallein at Dürrenberg
	Take the public bus back to Hallein
	Back to Salzburg by train
	Lunch in Salzburg and back to accommodation. Pick up luggage
	Train back to Vienna
Evening	Dinner

**Tuesday, 13<sup>th</sup> August 2019**

**Vienna**

Time	Event
	Gathering and leaving accommodation
Morning	Klimt museum (uncertain)
Noon	Lunch
Afternoon	To be determined
Evening	Dinner

**Wednesday, 14<sup>th</sup> August 2019**

**Vienna**

Time	Event
	Gathering and leaving accommodation
Noon	Lunch
Afternoon?	Transfer to Vienna International Airport
	Send-off and departure

8月15日(木)	日本 11:55	成田空港第1ターミナル到着
----------	----------	---------------



友愛について、参加者が感動する講和を川手正一郎最高顧問



エヤップについて他多岐にわたりレクチャー



派遣員の他、希望の役員が参加。エヤップとの橋渡し等、通訳として活躍のミヒャエラさんも出席



真剣に耳を傾けメモを取って聞き入る派遣員の皆さん。緊張のなかにも、若い笑顔が絶えることはない



レクチャー二日目、鳩山会館訪問。長田支配人より、鳩山家の歴史、会館の見所をたっぷりと



行ってきます！羽田空港にて（八月五日オーストリア航空便で出発・既に息の合った六人組！）



職能訓練所（エヤップの運営するガラス工場）にて。ロシアから来た少年らとともに



エヤップのビンマーさん（中央）と。優しい笑顔で私たちを迎えてくださいました



三日目に訪れた外務省での一枚。外交史や難民問題の現状についてのお話をお聞きしました。建物がとても綺麗



ザルトブルグにて。一番美味しいパンケーキ、カイザーシュマーレンをいただきました



ウィーン空港に一同無事到着。ここから六人とニキの大冒険が始まりました



難民の少年達とのセルフイー写真。皆で語り、かけがえのない時間を過ごしました



出会いは宝。楽しい時を過ごせた笑顔は忘れることができません。難民支援施設の若者と



老人施設で、一緒に作業体験。お隣で作っていたおばあさんにハーブパックをいただきました



国連連合ウィーン事務局。国連の役割について詳しく説明をしていただきました

## (2)OEJAB 受入

エヤップ受入事業については、3月実施の方向で準備を進めていたが、2019年12月より世界的な新型コロナウイルス流行がおきた。

3月には WHO よりパンデミック宣言も出され、実際の行き来が不可能な状況となり、エヤップとも協議の上、今年度の実施を見送ることとした。

### (3)中国 アジア・アフリカユースフェスティバル派遣

2019年10月15日(火)～10月19日(土) 中国：北京  
 中国国際青年交流中心主催による中国「一带一路」の国々からの若者たちを集めた特別フォーラムに、日本代表として友愛から2名の学生を派遣した。  
 このフォーラムには69ヶ国350名の若者が参加した。

#### ①選考

2019年8月OEJAB派遣員選考時次点の学生に参加可能かを確認の上候補者とした。

#### ③決定

第6回理事会（書面による決議）において

#### ④滞在期間

2019年10月15日(火)～10月19日(土)

#### ⑤参加者

上堂 蘭 遼 24歳 東京学芸大学 大学院 2年  
 小林 拓磨 20歳 千葉大学 3年



#### アジア・アフリカユースフェスティバル 日程

日時	行事	
10月15日(火)	午前と午後	すべての代表団が北京に到着
	夜	議題の紹介
10月16日(水)	午前	文化ツアー（紫禁城または万里の長城へ）
	午後	グループで青少年団体と関連する政府機関を訪問する
10月17日(木)	午前	アジア・アフリカ青年起業家フォーラム
	午後	アジア・アフリカパートナー協力フェア
10月18日(金)	午前	グループで大学や企業を訪問
	午後	グループで文化体験イベント
	夜	閉会式と祝賀会
10月19日(土)		帰国





インターナショナルな集合写真 69ヶ国から350名の若者が集結した



オープニングセレモニーの会場には、参加国の国旗が会場全体に掲げられていた



開会式会場のホテル。アニメ『千と千尋の神隠し』の舞台の様だと日本人同士で盛り上がった



会場で参加各国の国旗が紹介された。正に国際色豊かな一瞬だ



今回一緒にさせて頂いた日本からの参加者。皆さんエネルギーに溢れて。  
(国旗を持っているのは 小林さん)



グループに別れて行った活動。新聞紙を繋げて輪にし、輪の中を歩く。上堂菌さんのグループが優勝。



期間中に誕生日を迎えた参加者をサプライズで舞台に上げ、祝ってくれた。(中央 上堂菌さん)



中国建国七〇周年記念博覧会会場。中には下の写真の他、中国の近代史が解る展示が豊富にあった



建国七〇周年記念博覧会の入口に飾られている歴代主席の写真。これを見ただけで圧倒される



2020年1月10日発行 友愛機関紙563号3面にて参加後の感想文を掲載した。

#### (4)ミャンマー農業研修生受入

##### 事業概要

アウンサンスーチー議長より依頼を受け、友愛の理念のもと、「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」と「ミャンマーニューリーダーを育成する会」と協力し、NLD（国民民主連盟）から派遣された研修生に、ミャンマー発展に資する指導者としての必要な研修の場を与え、その活動を支援するものである。

##### 事業目的

ミャンマーの主たる産業が農業であることから、農業に関する知識、技術を日本の文化や考え方、生活に触れながら学ぶ機会を設けること。

研修後は自国において、日本で学んだことを伝え実践するよう努める。

研修を通して日本について理解してもらい、今後のミャンマーとの友好関係を緊密なものにする役割を担ってもらう。

##### 《研修生募集要領》

##### ①募集

ミャンマーの市民団体及びNLDを通じて募集

##### ②選考

応募者数 45名

選考委員により6名から選考

推薦者数 3名

##### ③決定

第6回臨時理事会（書面による決議）において 男性1名、女性2名決定

##### ④滞在期間

2019年9月27日（金）～11月26日（火）

##### ⑤研修生

ジン マ ウィン 29歳 女性

エイ ティンギ トウン 30歳 女性

トウン ミン ウー 35歳 男性

##### 実施内容

鹿児島県において、サツマイモの収穫・貯蔵を体験。更にサツマイモの加工（焼酎・焼き芋・菓子等をつくる技術）を学び、自国での農業、経済発展に資する。近郊型野菜作りの体験や、農業全般を学ぶことから、自国での可能性を探る。

## 滞在日程（抜粋）

2019年9月27日（金）～11月26日（火） 61日間

9月27日（金）来日

10月 3日（木）移動（東京→鹿児島）

鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（カピックセンター）  
農業研修

- ▶ さつまいも栽培・加工の視察、実習
- ▶ さつまいも料理体験
- ▶ さつまいも加工(焼酎)・黒酢の製法見学
- ▶ 畜産・有畜複合農業を学ぶ
- ▶ ミャンマー教育支援団体との交流
- ▶ 農家ホームステイ
- ▶ 日本文化(着物着付け)体験
- ▶ 学校訪問
- ▶ 芋掘り
- ▶ さつまいもを活用した地域おこし視察
- ▶ お茶の栽培と加工・バラ園・農園見学



鹿児島県の施設カピックセンターには、様々な国から研修生が訪れる。各国の国旗が飾られている中央玄関で、修了書を手に記念撮影

11月 3日（日）カピック研修まとめの発表会・閉講式

移動（鹿児島→広島）

11月 4日（月）、11月 5日（火）

広島市長訪問

広島平和記念資料館見学 平和記念公園慰霊碑献花 被爆者体験談聴講

鯉城 世界遺産宮島 厳島神社 見学

11月 6日（水）、11月 7日（木）

移動（広島→京都）

京都 島津製作所 創業記念資料館見学 伏見稲荷 平等院 金閣寺 清水

三十三間堂等見学

11月 8日（金）

移動（京都→東京）

11月 9日（土）友愛理事会にて研修報告

11月11日（月）川越菓子屋横丁 芋菓子調査

11月13日（金）鳩山会館見学

- 11月14日(木)ハルカインターナショナル訪問 きのこと栽培研修
- 11月16日(土)静岡県ふじのくに茶の都訪問 抹茶製造研修
- 11月17日(日)
- 移動（東京→長野）
- 11月18日(月)軽井沢にて近郊農家レタス栽培見学
- 11月19日(火)
- 移動（長野→東京）
- 11月20日(水)友愛事務局にて帰国前 最終打合せ
- 11月23日(土)在日ミャンマー学生連盟の方々と会食
- 11月26日（火）帰国

研修・文化交流の様子



収穫された大きなサツマ芋に歓声を上げた。甘くて美味しいサツマ芋を作ることが、究極の目的



苗作りを一から勉強。根を洗うなど、新しい知識に驚きの連続。意欲的な質問が続く



カピックから授与された「農業研修修了証書」。毎年カピックセンターにはご尽力いただいている



松井広島市長と記念撮影。「オコノミヤキ」と書かれた看板を見ながら撮ると、笑顔になるそうです



慰霊碑に花を供える。平和を祈る気持ちは、強い。長い時間手を合わせて、祈りを捧げていた



千羽鶴を捧げるブースの前で。昨日の夜、三時間の特訓で各人が折った千羽鶴を手に



被爆体験者岸田弘子さん(写真右)の話しに耳を傾ける。戦禍の実態を知る彼等の心に響く



平等院鳳凰堂の前で。美しい寺だと大感激。仏教徒の多いミャンマーだけに真摯に手を合わせていた



理事会での報告を終え、全員で記念撮影。ハッキリとした意見に、理事・監事各位も感心していた



鳩山由紀夫理事長を囲んで。みんな笑顔、理事長も笑顔。五年目を迎えた事業の着実な歩みが



ミャンマー事業担当の井田理事(写真右から二人目)にも、研修生からお礼の品が贈られた



この事業に絶大な協力をしてくださったミヤットウさん(左)とミョウさん(右)

## 2、表彰事業

（定款 第4条 第1項 第(2)号に基づく事業）

### (1)友愛国際写真コンクール

#### 事業概要

- ・「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」をテーマに、写真コンクールを行う。
- ・近年、携帯電話、インターネットの普及に伴い、中国における写真に対する興味が増加している。日本においてもインターネットへの写真掲載は容易となり発展している。

これらを踏まえ、植林事業において永年カウンターパートとして協力関係を続けている中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）との関係をこの事業を以って継続し、日中友好を築くこととする。

- ・国籍を問わず応募者を募り、友愛の理念を広め、世界平和、環境保護に対する世界の青年および成人の認識を呼び起こす契機となる。

#### 実施内容

- ・中国国内においては、中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）が核となり、インターネットを利用した募集、管理を行う。
- ・日本国内においては、友愛のホームページ上に、コンクール開催を掲示し募集する。
- ・両国とも受付窓口は、インターネットによるものとし、中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）が行う。
- ・投票サイトを開設。日本語・中国語・英語にて掲載。
- ・応募締め切り後、日中両国の審査員によって審査を行う。
- ・審査終了後日、中国(北京)において、展示会及び表彰式を行う。

#### 募集テーマ

「友愛」「平和」「緑(環境保護)」「人と自然」

#### 応募資格

国籍を問わず、年齢13歳以上の者

#### 応募規定

ひとり3作品まで。自作、未発表の作品をインターネットで応募すること。紙焼き等の応募は不可



ホームページ上の応募

## 広告・募集・日程

応募期間：2019年6月20日(木)～  
9月20日(金)

作品審査：2019年10月～11月上旬

表彰式：2019年12月11日(水)

## 応募総数

応募期間に、寄せられた作品は約10,000点強  
選考委員により選考：推薦作品236点

## 応募参加の国々

世界17ヶ国

## 日本側審査員

- ・新藤健一(フォトジャーナリスト 元共同通信社編集次長)
- ・石渡菜々子(スタジオCAC主幹カメラマン)
- ・公益財団法人友愛 理事・監事【計13名】

## 中国側審査員

- ・于文国(中国報道写真学会副会長)
- ・成衛東(中国写真家協会会員)
- ・陳奇軍(『中国撮影』雑誌編集部主任)
- ・呉承歆(中国写真家協会ネット編集者)
- ・翟紅剛(新浪網写真部ディレクター)



ホームページ上の応募フォーム

## 受賞作品・決定

専門賞(芸術写真として完成度の高いものに一等から三等の賞)、友愛賞、優秀賞、友好参加賞、ネットユーザー人気賞、携帯写真賞(携帯電話で撮影したもの)等、部門毎の賞を設定し、中国側審査員5名、日本側審査員2名及び理事会の厳正なる審査の結果、約86点が受賞作品に選ばれた。

## 友愛賞



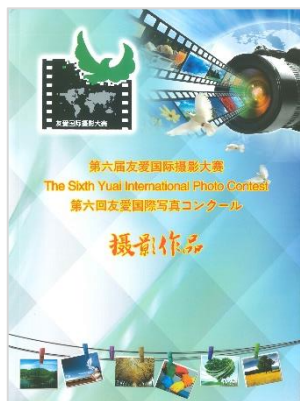
Leyla EMEKTAR「セザーの日記」



趙華「挨拶」



中華全国青年連合会(中国国際青年交流中心)作成の第6回友愛国際写真コンクールの冊子



表紙



裏表紙

受 賞 作 品

\*受賞作品を機関紙『友愛』(563号)の附録として発表

\*友愛ホームページ上に掲載発表(インターネット関連48点を除く)



## 表彰式

2019年12月11日(水)北京市内にある二十一世紀ホテルに於いて「2019年友愛国際写真コンクール」の表彰式が開催された。

会場には在中国日本大使館 渡邊倫幸 一等書記官や、中華全国青年連合会 奇巴図 主席、中国国際青年交流中心の馬興民主任が出席。中国国際青年交流中心スタッフ作成の「友愛との歴史」と題する映像が流され、植林活動・日中青年交流などを始め永年に亘る交流の歴史が紹介された。

## 各賞及び賞金

専門賞	1等賞 (1名)	5,000 元 × 1名	= 5,000 元
	2等賞 (3名)	3,000 元 × 3名	= 9,000 元
	3等賞 (5名)	2,000 元 × 5名	= 10,000 元
	優秀賞 (17名)	500 元 × 17名	= 8,500 元
友愛賞	2名	4,000 元 × 2名	= 8,000 元
ネット人気賞	1等賞 (1名)	2,000 元 × 1名	= 2,000 元
	2等賞 (2名)	1,000 元 × 2名	= 2,000 元
	3等賞 (4名)	500 元 × 4名	= 2,000 元
携帯賞	クリエイション賞 (20名)	100 元 × 20名	= 2,000 元
	感動賞 (20名)	100 元 × 20名	= 2,000 元
優秀組織賞	1団体	3,000 元 × 1団体	= 3,000 元
友好参与賞	10名		賞品

金額計 53,500 元 (1 元 ≒ 19 円 約 1,016,500 円)

尚、表彰式における「友愛との歴史」を含め、その模様及び作品集などすべてをホームページに掲載し、啓発に資するべく広く報告している。

## 表 彰 式



本コンクールも六回となり、友愛理念を伝える役割も確立されてきましたと挨拶 鳩山由紀夫理事長



一等賞の張伝明さんに鳩山由紀夫理事長から賞状、奇巴図 全青連副主席から賞金の目録が授与された



中国国際青年交流中心 馬興民主任(左)と渡邊倫幸 一等書記官(右)も、友愛と全青連の歴史に注目



ネットユーザー賞では、中国側 于文国審査員(右)と日本側 新藤健一審査員(左)がプレゼンターを



鳩山理事長は、奇巴図 全青連副主席(写真中央)とともに作品を鑑賞。笑顔で感想を述べる



受賞者全員・開催関係者一同・式典参加の学生達が舞台上がり、鳩山由紀夫理事長を囲んで全員の記念撮影。指でハートを示し、「ユーアイ」のかけ声とともにハイ笑顔！

## (2)小論文コンテスト・友愛講演会

### ◆2019年度 北京語言大学に於ける選考結果及び奨学金授与式

\*\*\*今回の表彰式は2019年3月17日(日)に実施の2018年度講演会に出席、小論文コンテストに応募した小論文の受賞者に対して行われたものである。  
\*\*\*2019年度講演会は2019年12月10日(火)北京語言大学で実施された。

- ・2019年12月10日(火)、北京語言大学講堂に於いて開催された表彰式で、友愛より奨学金と賞状・記念品が贈られた。
- ・講演会(2019年3月17日に実施)に参加した学生から「私にとって友愛とは」の題で小論文を募ったところ、数十編が寄せられた。
- ・北京語言大学日本語学科の教授陣5名の選考を受けた三十一編が友愛に届けられた。

この三十一編を理事、監事、選考委員を審査員とし、百点満点で採点。更に中国国際青年交流中心の洪桂梅副主任、王希宏部長、崔文武課長の採点も加え厳正な審査が行われた。

いずれの作品も素晴らしい出来映えで、審査員を大いに悩ませたが、3位を1名増やし7名の受賞者が選出された。

順位	奨学金(元)	授与	受賞者数	日本円(1元19円)
1位	5,000	奨学金・賞状・記念品	1名	95,000×1=95,000
2位	4,000	奨学金・賞状・記念品	2名	76,000×2=152,000
3位	3,000	奨学金・賞状・記念品	4名	57,000×4=228,000
入選	————	賞状・記念品	8名	0

日本円 合計 425,000円



皆さんの論文を拝読し、感動しました。  
今後も日本語を、友愛を学んでください  
と鳩山由紀夫理事長



日本語で書かれた賞状と賞金・記念品が授与された。一位の任耐安さん(左)も嬉しそう

2020年3月10日発行（第564号）の友愛機関紙2面・3面に、友愛小論文コンテスト「私にとって友愛とは」一位受賞作品 北京語言大学 三年 任耐安さんの『花々に込められた友愛』を掲載



一位入賞 北京語言大学三年任耐安さん  
見事な日本語でスピーチ

受賞者一覧

第一位	任耐安	3年生	花々に込められた友愛
第二位	劉品原	4年生	わたしにとって友愛とは
第二位	楊中奕	3年生	わたしにとって友愛とは
第三位	李 穎	3年生	わたしにとって友愛とは
第三位	漆晓艳	4年生	わたしにとって友愛とは
第三位	梁 冉	4年生	友愛から考えること
第三位	連傑婕	3年生	わたしにとって友愛とは
入選	張一帆	4年生	「恕」で「友愛」を続ける
入選	吳詩祺	2年生	わたしにとって友愛とは
入選	任方適	4年生	わたしにとって友愛とは
入選	吳誠卿	3年生	わたしにとって友愛とは
入選	马依然	4年生	友愛のちから
入選	楊皓月	4年生	わたしにとって友愛とは
入選	王馨玮	3年生	友愛と発展
入選	李童一心	4年生	複雑な「友愛」

作品集『私にとって友愛とは』を作成し、表彰式に参加した学生に配布した。受賞作品及び作品集に掲載の作品すべてをホームページ上で閲覧に供し、友愛理念の普及啓発・国際交流の意義を伝える一助としている。

## ◆2019年度 北京語言大学に於ける「友愛講演会」

2019年12月10日（火）北京語言大学講堂に於いて友愛講演会が開催された。鳩山由紀夫理事長は、会場を埋め尽くす300名の学生を前に、50分にもわたって友愛についての講演を行った。北京語言大学は、世界176ヶ国からの留学生が学び、独自の教育方針を貫いている大学で、東京池袋にも東京分校を開校し、中国語教育、日本語教育に力を入れている。

日本語学科の学生（二年生～四年生）を中心に会場を埋め尽くした。

この講演会を受け、日本語学科の学生は「私にとって友愛とは」の小論文を提出するコンテストに参加することとなる。

小論文コンテストは、公益財団法人友愛の表彰事業として実施され、優秀作品には、賞状と賞金が贈られる。



これが皆さんに向けての最後の講演となります。と感無量の面持ちで。川手正一郎最高顧問



上堂蘭遼さん(左)成田葵さん(中)吉田大志さん(右) 日本から同行の学生も楽しく参加



会場を埋め尽くした学生たち。鳩山理事長の講演の後、活発な質問も寄せられた。毎年これ程多くの学生が日本語を学んでいる事に目を向けるべきではないだろうか

### 3、普及啓発活動

（定款 第4条 第1項 第(3)号に基づく事業）

#### 事業概要

機関紙『友愛』の発行、ホームページでの情報開示（事業報告等を含む）及びリーフレットの作成、配布などを通じ、本財団の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念についての理解を深める一助とする。

#### (1)機関紙『友愛』の発行

- ・機関紙『友愛』は、6回発行された。
- ・理事長が参加した事業に関しては、随時理事長の執筆による報告記事を掲載。写真を多用し具体的事業の報告が行われた。

#### ◆ 2019年(令和元年)度機関紙『友愛』発行履歴

2019年5月（第558号・第559号郷合併号） 4,000部発行

- ▶公益財団法人 友愛 始動 友愛理念を世界に発信する…理事長 鳩山由紀夫
- ▶新しい「友愛」によせて 歴史と未来・五名の理事が寄稿
  - ・すべては時代とともに変化する～友愛の新たなスタートを祝す～  
…常務理事 川手正一郎
  - ・六十六年・隔世の感…理事 芳賀大輔
  - ・これからの友愛…理事 井田安信
  - ・「友愛」思想の普及、発展のために…理事 攪上哲夫
  - ・かわるもの…理事 西川伸起
- ▶第四期日中青年陝西省麟游県生態緑化モデル林事業  
第四期植林終了・緑の山を夢みて  
鳩山理事長始め五名の第三〇次友愛訪中団が交流 昨年植林の木々は、順調に生育していた
- ▶公益財団法人 友愛への会員登録をお願いします
- ▶特別寄稿 研修生との思い出…中田英志

2019年7月（第560号） 4,000部発行

- ▶公益財団法人友愛 第一回定時評議員会開催  
平成30年度計算書類・平成30年度事業報告・平成30年度公益目的支出計画

実施報告書承認

任期満了による評議員・理事・監事選任

公益目的支出計画実施終了

新たに三名の評議員・四名の理事・一名の監事が就任

- ▶論語に学ぶ友愛講座 参加者募集
- ▶第三十一次植林訪中団 遼寧省北票市にて最後の植林活動実施
  - 日中緑化交流基金による植林活動終了
  - 緑の山々を描いて地元学生達と皆で植林
  - 緑の一路 一植林事業の終結にあたって…最高顧問 川手正一郎
- ▶2019年度国際交流事業 OEJAB 学生派遣
  - 六名の学生が勢揃い それぞれの抱負を語る
  - 八月五日から八月十五日まで OEJAB にて研修
    - ・初訪問のウイーンに心を躍らせて…名古屋大学四年 木本康瑛
    - ・これまでとこれからを繋ぐ研修へ…名古屋大学三年 後藤大智
    - ・六名が感じたことを大切に…早稲田大学二年 森崎桃子
    - ・派遣事業への意気込み…一橋大学四年 吉田大志
    - ・これからの糧となる学びを…東北大学三年 阿部真悠子
    - ・人生の次のステップのための二週間…慶應義塾大学 大学院一年 成田 葵
- ▶遼寧省北票市 長皋郷学校 訪問
  - 書籍寄贈大喜び・返礼に書道・切り絵・ダンスを披露
  - 紙芝居「かさじぞう」に目を輝かせて
- ▶西安外国語大学附属高校訪問 記念植樹実施 学生との交流実施

2019年9月（第561号） 4,000部発行

- ▶新任役員紙上ご挨拶 公益法人発足 十二名の理事・監事三名・評議員十二名勢揃い 担当役員も決まり、意欲的に活動開始
  - ・理事就任にあたって…理事 中島政希
  - ・私と友愛…理事 高邑 勉
  - ・新たな時代…理事 山寄偉広
  - ・友愛の輪を世界に…理事 鳩山太郎
  - ・監事就任にあたって…監事 海方 亨
- ▶二〇一九年度国際交流事業 OEJAB 学生派遣
  - 六名の学生が報告書・写真を提出 充実の十日間をそれぞれの言葉で  
(今号は三名の女子学生、男子学生の報告は十一月号 HPに全員の報告を掲載)
  - ・公益財団法人として初の OEJAB 派遣事業…理事 西川伸起
  - ・研修を終えて…東北大学三年 阿部真悠子
  - ・「集団」と「個人」…慶應義塾大学 大学院 修士一年 成田 葵
  - ・愛のある自分の居場所…早稲田大学二年 森崎桃子



2019年11月（第562号） 4,000部発行

- ▶ミャンマー農業研修生三名来日  
カピックセンター(鹿児島)にて一ヶ月の研修終了  
平和を祈る友愛—広島を訪問—松井広島市長訪問 日本文化に触れ、地域の方々との文化交流も活発に
- ▶論語に学ぶ友愛 講座開設  
安岡定子先生をお招きして、充実の二時間 論語にみる友愛の理念
- ▶二〇一九年度国際交流事業 OEJAB 学生派遣  
六名の学生が報告書・写真を提出 第二弾
  - ・オーストリアでのかけがえのない出会い…名古屋大学医学部四年 木本康瑛
  - ・もっと学び、ワンランク上の「これから」へ…名古屋大学法学部三年 後藤大智
  - ・研修を終えて…一橋大学経済学部四年 吉田大志

2020年1月（第563号） 4,000部発行

- ▶巻頭言 若者の育成を喫緊の課題として 理事長 鳩山由紀夫
- ▶第六回 友愛国際写真コンクール 表彰式・展示会開催  
「友愛・平和・緑・人と自然」をテーマに一万点が鎬を削る  
特別附録受賞作品を紹介・ホームページにカラーで掲示
- ▶「私にとって友愛とは」小論文コンテスト 表彰式・講演会開催  
川手最高顧問も心を込めてスピーチ 日本からの学生も出席
- ▶アジア・アフリカユースフェスティバル 中国への派遣学生報告記  
六九ヶ国 三五〇名の若者が一堂に会して 友愛代表として二名の学生が参加
  - ・世界と日本と…東京学芸大学 大学院二年 上堂 蘭 遼
  - ・「おもてなし」再考…千葉大学 三年 小林拓磨

2020年3月（第564号） 4,000部発行

- ▶公益財団法人友愛 第九回 臨時理事会開催
- ▶派遣員が勢揃い 未来の友愛への第一歩となれ！
- ▶友愛小論文コンテスト「私にとって友愛とは」一位入賞作品発表  
花々に込められた友愛…北京語言大学 三年 任 耐安
- ▶鳩山由紀夫理事長率いる友愛訪中団 孔子第七十七代子孫孔德墉先生と面談
- ▶国際意見交換会「友愛サロン」北京にて開催
- ▶中国へ支援物資・応援メッセージを贈る 山川異域 風月同天

◆ 送 付 先

会員・関係各位団体等 : 1,400箇所へ郵送

また、関係各所にて配布を実施。  
海外関係先へ送付、配布依頼（中国国際青年交流中心・北京理工大学等）。

## (2)ホームページの公開・更新

- ①随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
- ②友愛会員登録がホームページでできるようになっている。
- ③「第6回友愛国際写真コンクール」は、すべてインターネットを利用しての応募、人気投票であったため、ホームページが活用された。
- ④機関紙『友愛』バックナンバー（第1号～最新号[564号]）の掲示が完了しており、『友愛』発行毎に更新が行われている。
- ⑤QRコードを設定し、機関紙『友愛』紙上など機会をみて掲示。  
一人でも多くの人に手軽にスマートフォンでホームページにアクセスできるよう普及に努めた。
- ⑥問い合わせ専用ページを作成し、メールでの問い合わせを可能にした。



## (3)「論語に学ぶ友愛」講座実施

2019年9月14日(土)14時から友愛サロン（友愛事務局3階）に於いて「論語に学ぶ友愛」講座がスタートした。友愛理念の普及啓発活動一環として実施されるこの事業は、2017年にも実施されている。その第二弾となる本事業の実施にあたっては、前回同様、機関紙「友愛」紙上と友愛ホームページ上に情報を掲げ、広く参加者を募集した。結果、43名の応募があり、規定人数内であったため、抽選することなく希望者全員が受講することとなった。

回数	月	日	曜日	時間
第1回	9	14	土	14:00~16:00
第2回	11	9	土	14:00~16:00
第3回	12	14	土	14:00~16:00
第4回	2	8	土	14:00~16:00
※第5回	3	未定	土	14:00~16:00

講師：第1回から第4回は安岡定子先生，第5回は鳩山由紀夫理事長

場所：友愛サロン

受付：13：30～13：50

開始：14：00～

参加受講料は各回毎に 友愛会員 3,000 円，非会員 5,000 円

※第5回は、新型コロナウイルスの影響で、開催を中止とした。



また皆さまにお目にかかれて私も嬉しいです。と笑顔で講義を。安岡定子先生



友愛を学ぶ、論語に学ぶ、論語の仁は正に友愛ですと挨拶。鳩山由紀夫理事長



論語を読破した、友愛婦人会時代から安岡先生と親交のある小峰秀子評議員が講師紹介



年齢も様々、学ぶ気持ちには男女差も年齢差も無い。多くの方が、真剣な眼差しでテキストに向かう



一歳児から百歳の方まで、幅広い生徒さんに論語を読み説いている安岡定子先生の話に皆聞き入っている



第二回目講座に特別参加  
孔子から数えて第七十五代の子孫にあたる孔祥明さん。現在日本で東京大学に留学中

★この講座からの派生として、第75代孔家に面談の機会を得ることが出来た。  
【31ページ (5) 孔家当主と面談 参照】

#### (4)北京にて国際意見交換会「友愛サロン」開催

2019年12月12日（木）

北京の二十一世紀飯店において、シンポジウム「第2回友愛サロン」が開催された。これは日本の学生と中国の学生、そして中国に留学中の学生を交え、学生がテーマを設定し、互いの国の事情などを発表しながら意見交換するもので、今回は16名（日本、中国、韓国）の学生が集い、活発な意見交換を行った。



朝四時に家を出て参加しました。  
と語る管観福さん 日本語を勉強しています/天津外語大学



鳩山由紀夫理事長は挨拶のあと、正面の席を学生に譲り、全てを若者で運営するよう促した



日本人は真面目で良くできる感じがすると 北京で勉強中の趙天鵬さん/北京人民大学



日本人はどんな印象ですか？ と口火を切った慶應義塾大学大学院1年成田葵さん 司会役も見事にこなして



音楽を専攻して、今は国語の先生を目指しています。伝える事は大切ですと語る 東京学芸大学大学院2年上堂蘭遼さん



頼りになるまとめ役として活躍 一橋大学4年吉田大志さん 中国の文化をどんな欲に見学、学習。



参加者全員で記念撮影。伝統的の茶道、珍しい文字を披露して下さった方々も一緒。文化の交差点

## (5)孔家当主と面談

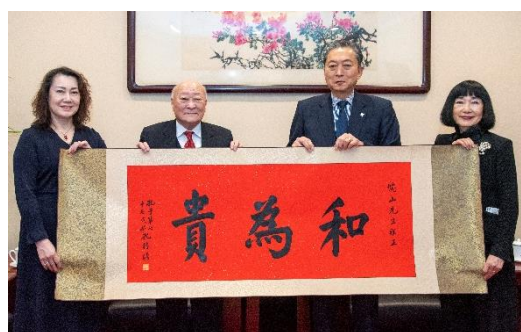
2019年12月12日（木）

鳩山由紀夫理事長率いる友愛訪中団は、北京の二十一世紀飯店において、孔子から数えて第七十七代目の子孫にあたる孔徳墉先生とお会いする機会を得た。この素晴らしい機会を得ることが出来たのは、現在日本の東京大学に留学中の孔祥明さんの仲立ちによる。孔祥明さん自身も、孔子から数えて第七十五代の子孫にあたり、孔徳墉先生とは懇意の間柄。鳩山由紀夫理事長の通訳を務めたこともある関係から、今回の面談を設定して下さった。

揮毫の文字にも力強さが現れている。「和為貴」。鳩山一郎先生、鳩山威一郎先生も好まれた成句



活舌良好、言語明瞭、とても九十三歳とは思えない迫力。穏やかな笑顔が素晴らしい。孔徳墉先生



同行の学生達も一緒に、貴重な記念撮影。写真後列右から二人目が、仲介役の孔祥明さん

「子曰く吾十有五にして学に志し三十にして立ち、四十にして惑わず……」の有名な章句が掲載されているページ（為政第二）写真右 そのページを開き、鳩山理事長と笑顔で語る孔徳墉先生。写真左 本の文字はすべて赤字で記されている



## (6)小冊子等の作成・配布

### ①リーフレット『友愛とは』の配布

入会希望者等に郵送及び、友愛事務局・鳩山会館等で配布した。

植林訪中時に持参、中国の学生に配布した。

また、「アジア・アフリカユースフェスティバル」のフォーラム、国際交流事業実施時において配布。

- ・友愛を簡単に紹介する資料として有効であることから、英訳・中国語訳を作成した。



### ②『私にとって友愛とは』2019年版

北京語言大学に於ける「友愛講演会」奨学金対象感想文(日本語で作成のもの)の内、受賞作品を冊子にした。その内容の素晴らしさと日本語の見事さを紹介すべく関係各位へ配布した。

また、2019年12月10日北京語言大学講堂に於いて開催された表彰式及び、「友愛」をテーマにした講演会で、配付した。



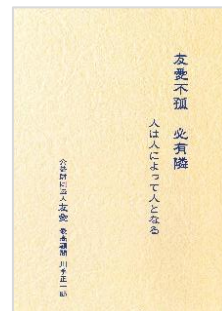
表紙



裏表紙

### ③『友爱不孤 必有隣』の配布

友愛理念の普及のための説話をまとめ、併せて友愛の近代史となる出来事を時系列的にまとめ冊子とした。



## IV その他の事業

☆これらの事業は旧年度のもので、単年度であることから計算書類は「管理費（法人会計）」として処理されている

### (1)日中緑化交流基金による中国植林事業

（定款第4条 第1項 第(3)号に基づく事業）

#### 事業概要

日中緑化交流基金を活用し、中国における植林活動を行う。環境保全に貢献し日中友好を目指す。併せて交流の機会を設け広く友愛の理念を伝える機会を得る。実施においては、中華全国青年連合会（中国国際青年交流中心）を中国側カウンターパートとし、日本からは広く募集をかけ参加者を募り、訪中団を結成し中国に派遣する。

#### 《2019年度事業》

2001年から約20年間続けられた植林活動は、今回の北票市の活動を以て終了した。

#### ▶ 第31次植林訪中団派遣

（期 間）2019年5月21日(火)～5月24日(金)

（植林地）遼寧省朝陽市北票市[第三期]、

（中国側カウンターパート）中華全国青年連合会、遼寧省北票市青年連合会

（訪中団員）団長 川手正一郎 常務理事

団員 川手祥右

羽中田元美 事務局長

#### ◆日中青年遼寧省北票市生態緑化モデル林

（日中緑化交流基金からの助成金）9,000,000円

（植林面積）48ヘクタール

（植樹数）80,000本 補植13,000本

（植樹種）油松、山杏

#### 実施の成果

本事業の完成により、48ヘクタールの林地が増えた。これは現地の植生が少なく、土壌流出が深刻な問題となっている現状を変えることに役立った。①現地の生態環境を改善。②土壌流出を軽減。③植樹された木々による防護機能を



果たさせる効果が生まれた。

さらに、現地においての植樹、ボランティアの参加など具体的な人と人の日中交流が行われた。これらの点から本事業は、日中青年交流の促進に大きな役割を果たしていると言える。こうした実際的な交流は延いては、日中両国の友情、世々代々に伝わる友好の増進に大いに寄与することであり、日中友好促進の重要な意義を果たしている。

遼寧省朝陽市北票市



この上ない好天、照りつける太陽のもと、関係各位と友愛植林訪中団、ボランティアで参加の学生たちが記念撮影。

遠くに見える山は、数年後緑に覆われ、爽やかな木陰と自然の恵みをもたらしてくれるだろう



川手常務理事（右）と洪桂梅副主任（中央）が、最後の植林に精をだす。二人とも万感の思いを抱いて



定評のある川手常務理事の挨拶も、これが最後。かみしめるように一言一言に聞き入る



気温三十四℃、抜けるような青空、陽炎がもえ空も山もまるでゴッホの絵のよううごめいていた



給水車からバケツで苗に水を運ぶ。子どもたちも精一杯走りまわる。地元の方々の期待も大きい

## (2)遼寧省北票市 長皋郷学校 訪問

2019年5月23日（木）

友愛植林訪中団は、植林現場でもある北票市長皋地域にある「長皋郷学校」を訪問した。これは地元の中華全国青年連合会の要請に応えたもので、友愛について、また日本の文化について紹介してほしいとの事であった。



子ども達は行儀良く並んで、友愛一行の到着を待っていてくれた。皆日本人に会うのは初めてだとか



書籍の贈呈。中国国際青年交流中心の崔さん（右端）も笑顔で本を手渡す。子ども達は緊張ぎみ



川手祥右さんの紙芝居披露。練習の甲斐あって、なかなか堂に入ったものであった



紙芝居見たい人の問いに、元気に手を挙げる子ども達。素直な眼差しと笑顔が記憶に残る



高校生の技術披露。すらすらと見事な筆捌きで論語のなかの語句を書いてゆく



高校生による実技披露。伝統工芸の「切り絵」を実際に作り、プレゼントしてくれた

### (3)友愛同窓会（仮称）開催

国際交流事業の一環として行っている OEJAB(エヤップ)への学生派遣事業（3ページ参照）及び中国で開催されたアジア・アフリカユースフェスティバルへの派遣事業（8ページ参照）など、次世代を担う若者に、国際感覚を養い、友愛の理念を体感する機会を提供するため実施している派遣事業の経験者が一堂に会し、意見交換を行った。

前回の派遣員は、既に社会人になっている者も混じる。鳩山由紀夫理事長を囲んで、楽しく有意義な時間を過ごした。

出席者：鳩山由紀夫理事長  
川手正一郎最高顧問  
谷藤悦史評議員  
戸澤英典評議員  
西川伸起理事  
攪上哲夫理事  
井田安信理事  
羽中田元美事務局長



鳩山由紀夫理事長を囲んで、全員が笑顔で勢揃い！  
この力とエネルギーを結集して友愛活動を推進して  
行きましょう！



表紙



第一回同窓会（仮称）記念に作成したミニアルバム。友愛ホームページに全頁カラーで掲載しております

## V 業務執行

### 1、理事会開催

※一般財団法人 友愛は、平成31年（2019年）4月1日から公益財団法人 友愛となった

第1回 臨時理事会（書面による決議）

開催日：2019年4月13日（土） 午前10時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、  
エヤップへの派遣事業の実施に関して

協議事項：公益財団法人友愛 会員規定の変更に関して、普及啓発活動  
「論語に学ぶ友愛」講座実施に関して、定款の一部変更に関して、評議員  
会開催に関して、役員任期満了に関して

※平成31年（2019年）は1月1日～4月30日まで。

5月1日（2019年）より新年号の令和となった

第2回 通常理事会

開催日：2019年6月6日（土） 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：経理・庶務関係業務及び対外提出・来状書類に関して、  
エヤップへの派遣事業の実施に関して、ミャンマー農業研修生招聘事  
業に関して、「小論文コンテスト」に関して、「友愛国際写真コンクール」  
に関して

協議事項：平成30年度一般財団法人友愛計算書類に関して、平成30  
年度一般財団法人友愛事業報告書に関して、平成30年度一般財団法人  
友愛公益目的事業計画実施報告書に関して、任期満了に伴う公益財  
団法人友愛の理事の推薦に関して、任期満了に伴う公益財団法人友愛  
の監事の推薦に関して、任期満了に伴う公益財団法人友愛の評議員の  
推薦に関して、事務局員等の定期昇給及び夏季賞与に関して

機関紙『友愛』第558（3月）・559（5月）合併号2019年5月10  
日発行

第3回 臨時理事会

開催日：2019年 6月22日（土） 午前9時～

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告：庶務等の状況に関して（会員登録申し込み状況に関して）  
エヤップへの派遣事業の実施に関して、ミャンマー農業研修生招聘事業  
に関して、「友愛国際写真コンクール」に関して

協議事項：2019年度エヤップ派遣学生の選考承認に関して、201  
9年度「論語に学ぶ友愛講座」実施内容の承認に関して

第4回 臨時理事会

開催日：2019年 6月22日（土） 午前11時～

場 所：友愛サロン

議 事：協議事項：代表理事の選任（互選）

第5回 臨時理事会

開催日：平成30年 7月22日（月） 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：報告事項：庶務・経理関連（代表理事及び新役員の登記完了・小林広治  
会計士による定期会計諸表確認及び指導）

協議事項：運営委員の選任、担当理事の選任、定款の変更に関して、夏  
季休暇(事務局)に関して

機関紙『友愛』第560（7月）号2019年7月10日発行

第6回 臨時理事会（書面による決議）

発 送 日：2019年 8月 8日（木）

返信日付：2019年 8月10日（土）

議 事：ミャンマー農業研修生受入事業の人員選考に関して、アジア・アフリカ  
ユースフェスティバルへの人員派遣の是非、アジア・アフリカユースフ  
ェスティバルへの人員派遣が是の場合の人選に関して

第7回 臨時理事会

開催日：2019年 9月12日（木） 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：報告事項：庶務・経理関連（小林広治会計士による定期会計諸表確認及び指導・在ミャンマー日本大使館宛招聘状送付）、エヤップ派遣事業に関して、ミャンマー研修生受入事業に関して、小論文コンテストに関して、論語に学ぶ友愛講座に関して、税額控除法人申請に関して  
協議事項：「友愛国際写真コンクール」表彰式開催に関して、「友愛講演会」開催に関して、「小論文コンテスト」表彰式開催に関して、定款変更に関して  
機関紙『友愛』第561（9月）号2019年9月10日発行

#### 第8回 臨時理事会

開催日：2019年11月9日（土） 午前10時～

場 所：友愛サロン

議 事：報告事項：庶務・経理関連（友愛山荘関連 建物登記変更完了・小林広治会計士による定期会計諸表確認及び指導）、ミャンマー研修生受入事業に関して、小論文コンテストに関して、論語に学ぶ友愛講座に関して、友愛国際写真コンクールに関して、アジア・アフリカユースフェスティバルへの派遣に関して、友愛同窓会(仮称)開催に関して  
協議事項：「小論文コンテスト」入賞者決定に関して、訪中団の参加者に関して  
機関紙『友愛』第562（11月）号2019年11月10日発行

#### 第9回 臨時理事会

開催日：令和2年（2020年）1月23日（木） 午後18時～

場 所：友愛サロン

議 事：報告事項：庶務・経理関連（小林広治会計士による定期会計諸表確認及び指導、年末調整・納税指導及び決算指導）、エヤップ派遣など交流事業に関して、ミャンマー研修生受入事業に関して小論文コンテストに関して、論語に学ぶ友愛講座に関して、使途指定寄付受領に関して、モンゴル首相からの問い合わせに関して、友愛同窓会(仮称)開催  
協議事項：エヤップへの寄付実施に関して、2020年度事業計画に関して、運営委員の構成員に関して  
機関紙『友愛』第563（1月）号2020年1月10日発行

## 第10回 臨時理事会

開催日：2020年 3月 14日(土) 午前11時～

場 所：友愛サロン

議 事：報告事項：庶務・経理関連(小林広治会計士による定期会計諸表確認及び指導)、エヤップよりの寄付受領書受領

運営委員会報告：2020年度実施事業予定の詳細及び予算の確認、各事業実施要項【友愛国際写真コンクール・友愛小論文コンテスト・エヤップ受入事業・エヤップ派遣事業・ミャンマー農業研修生受入事業】について担当理事を中心に検討

協議事項：2020年度事業計画書(案)、2020年度事業予算(案)

実施要項の一部改訂 1) 友愛国際写真コンクール実施要項

2) 友愛小論文コンテスト実施要項

3) エヤップ受入事業実施要項

4) エヤップ派遣事業実施要項

5) ミャンマー農業研修生受入事業実施要項

定款の一部変更、評議員会開催(書面による決議を含む)

## 2、評議員会開催

### 第1回 定時評議員会

開催日：2019年6月22日(土) 午前10時～

場 所：友愛サロン

議 事：報告事項：会員登録申し込み状況に関して、エヤップへの派遣事業の実施に関して、ミャンマー農業研修生招聘事業に関して、「小論文コンテスト」に関して、「友愛国際写真コンクール」に関して

協議事項：平成30年度一般財団法人友愛 計算書類に関して、平成30年度一般財団法人友愛 事業報告書に関して、平成30年度一般財団法人友愛 公益目的事業計画実施報告書に関して、任期満了に伴う公益財団法人友愛の理事の選任、任期満了に伴う公益財団法人友愛の監事の選任、任期満了に伴う公益財団法人友愛の評議員の選任、2019年度事業予算の承認、2019年度事業計画の承認

第2回 臨時評議員会（書面による決議）

発 送 日：2020年3月16日（月）

返信日付：2020年3月26日（木）

議 事：2020年度事業計画書、2020年度収支予算書、各事業実施要項（友愛国際写真コンクール事業・友愛小論文コンテスト事業・エヤップ受入事業・エヤップ派遣事業・ミャンマー農業研修生受入事業）及び2020年度実施方針・審査方針、定款の一部変更に関して

### 3、運営委員会開催

開催日：2019年 4月22日（月）午後18時～

場 所：友愛サロン

開催日：2020年 2月8日（土）午後16時～

場 所：友愛サロン

開催日：2020年 2月25日（火）午後18時～

場 所：友愛サロン

開催日：2020年 3月14日（土）午後13時～

場 所：友愛サロン